

第6回日本不育症学会学術集会開催のお知らせ

松の内の賑わいも過ぎ皆さまいかがお過ごしでしょうか。

さてこの度、2024年6月1日（土曜日）、国際医療福祉大学赤坂キャンパスにて第6回日本不育症学会学術集会を開催させていただくこととなりました。

今回の学術集会のテーマは「不育症診療－未来への展望」といたしました。昨今、ゲノム医療の進歩に伴い、着床前遺伝学的検査（PGT）に代表される胚の染色体情報を見る技術が臨床導入されて、体外受精・胚移植の組み合わせにより流産回避を目指す新たなアプローチが出現しています。また、ネオセルフ抗体に代表される免疫学的異常に関する新たな検査法や不育症の治療選択肢として定着している低用量アスピリンとヘパリンに加えて、ガンマグロブリンを用いた治療有効性に関する国内でのエビデンス確立など不育症診療内容が大きな変化を迎える時代となっています。そうした現状を踏まえて、本学術集会の開催が不育症診療の未来への展望について議論を深めるきっかけとなることを期待しています。

一般演題の募集については2月1日から2月26日までを予定しております。また今後随時情報を更新いたしますので、本学術集会ホームページ（下記URL）でご確認いただければと存じます。

開催概要

- 会長：国際医療福祉大学成田病院 産科婦人科 永松 健
- 日時：2024年6月1日 9時－17時
- 開催形式：現地開催（オンライン・オンデマンド配信はありません）
- 会場：国際医療福祉大学東京赤坂キャンパス
東京都港区赤坂4丁目1-26
- 学術集会HP：<https://gakujutsushukai.jp/fuiku6th>
- 参加費 10,000円(オンラインでの参加申し込み予定)

また、本学会では、2年前より不育症認定医制度が発足しており、翌日6月2日日曜日にはその試験を予定しております。

東京赤坂のアクセスのよい会場での開催で、不育症診療についての最新的话题を詰め込んだ内容を目指して準備を進めますので、皆様の奮ってのご参加をお待ちしております。

2024年1月吉日

第6回日本不育症学会学術集会
学術集会長 永松 健
国際医療福祉大学成田病院 産科婦人科



第6回日本不育症学会学術集会 不育症診療～未来への展望～

学術集会長：永松 健（国際医療福祉大学）

会期：2024年6月1日（土）

会場：国際医療福祉大学 東京赤坂キャンパス

（〒107-8402 東京都港区赤坂4丁目1-26）